

Material Sensation

実施日：平成29年3月1日～3月9日 於：米国（ロサンゼルス）、ブラジル（サンパウロ）

■ 派遣専門家



名和晃平
京都造形芸術大学教授、
SANDWICHディレクター、
彫刻家

2003年京都市立芸術大学大学院
美術研究科博士(後期)課程彫刻専
攻修了。2009年に京都・伏見区に立
ち上げた創作のためのプラットフォーム
「SANDWICH」を拠点に活動。「もの
の表皮」への意識から発して、感覚や
思考のメタファーとしてのマテリアルを「セル」という概念を元に様々な表現に展
開し、国内外で高く評価されています。

■ 事業概要

● ロサンゼルス



Neu House Hollywoodでの講演
会



講演の様子



レセプションでの美術関係者との懇談

● サンパウロ



Sesc・ヴィラマリーナでの講演会



講演終了後のカクテルパーティ



Sescポンベア視察

■ 実施結果

日本の魅力を発信する拠点「ジャパン・ハウス」が開館するロサンゼルスとサンパウロで、彫刻から建築まで幅広い分野で活躍する名和晃平さんが、革新的な作品創造過程、テクノロジー・材料・素材に対する姿勢等についての講演を行いました。ロサンゼルスではクリエイティブ職の方が集まるシェアオフィスで、サンパウロではブラジル人の文化教養を高めるために作られた総合文化センターSESC（セスキ）で、美術展のキュレーター・芸術雑誌の編集者などのアート関係者、デザイナー、学生等幅広い層に向けて講演を行いました。今回の事業をきっかけに、具体的な個展開催のオファーがあったほか、サンパウロではヴォーグ誌、ロサンゼルスでは現地紙等による取材が行われました。